

第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年1月

応募者名:石川県 土木部 都市計画課

事業の名称:都市計画道路 千代尼線無電柱化事業

実施都市名:石川県 白山市 四日市町～成町

事業目的

都市計画道路千代尼線は、沿線に江戸期に活躍した俳人「加賀の千代女」の生誕地があることから名付けられ、江戸期から北国街道に連なる商業地として栄えた路線であり、白山市四日市町から成町までの間には、大町・中町・安田町・茶屋町の4つの商店街からなる「千代尼通り商店街」が形成されている。近年、郊外部における大型店舗進出により、約20年で店舗数が半減し、商店街の活力低下が課題となっていた。

そのため、無電柱化による安全で快適な歩行空間の形成により、中心市街地の活性化、賑わい創出を目的に事業を実施したものである。

事業概要

事業名称：都市計画道路 千代尼線無電柱化事業

路線名：都市計画道路 千代尼線

事業箇所：石川県 白山市 四日市町～成町

事業延長：L=1,004m

幅員：W=14m(車道3.0m×2 歩道3.5m×2)

事業費：1,765百万円

事業実施期間：平成13年～平成23年

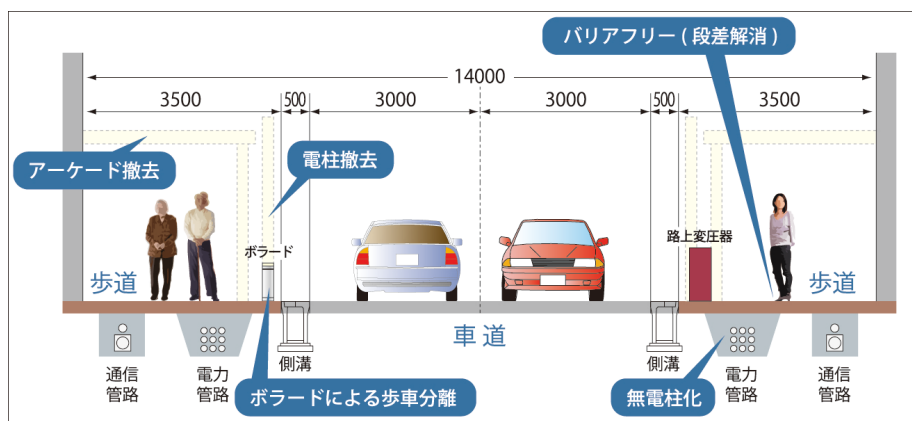
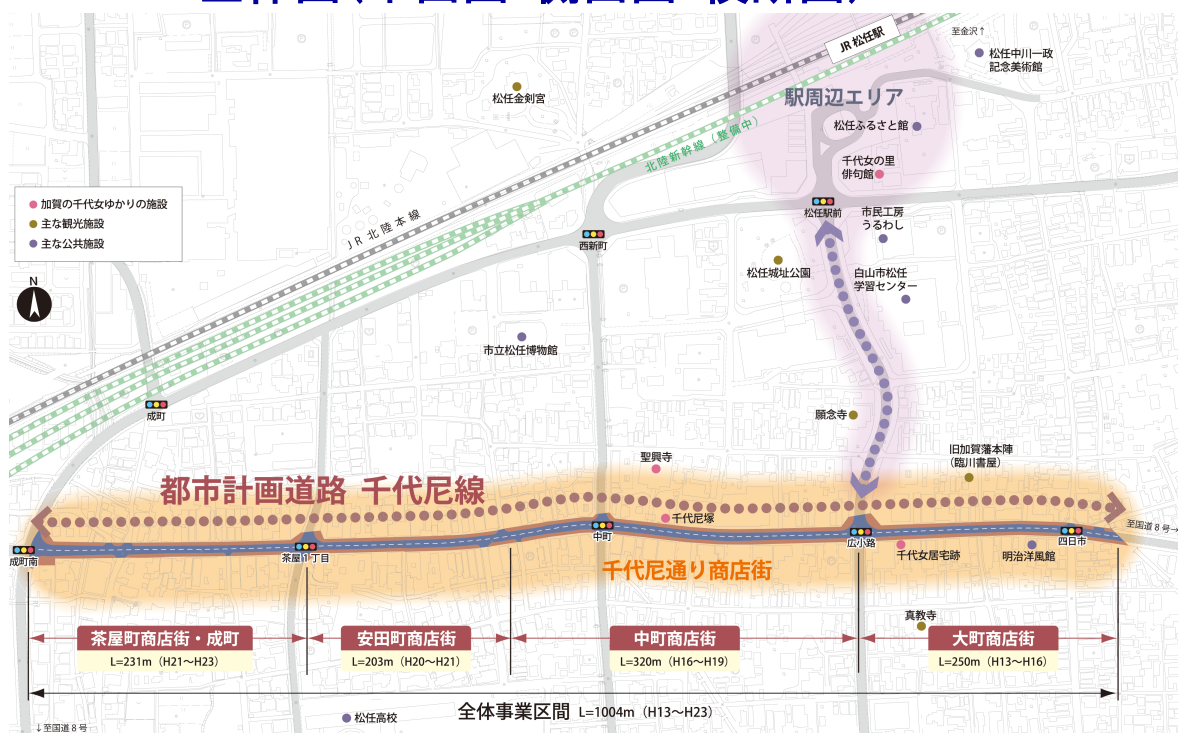
本事業は、中心市街地の活性化、賑わい創出に寄与するため、無電柱化、アーケードの撤去、歩道のバリアフリー化により、明るく快適な歩行空間を確保するとともに、「加賀の千代女」の句をモチーフにした歩道タイルを設置するなど地域資源を活かした修景整備を行った。

また、沿線の4つの商店街で組織された「千代尼通り商店街協議会」では、独自に白山市条例に基づく「まちづくり協定」を締結し、良好な街並み景観の形成に努めるとともに、県の「道路アドプト制度」を活用し、道路の美化活動や沿道の緑化にも精力的に取り組んでいる。

事業位置図



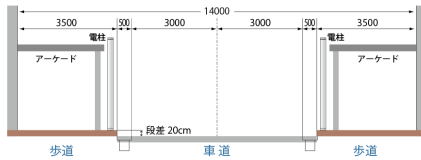
全体図(平面図・側面図・横断面図)



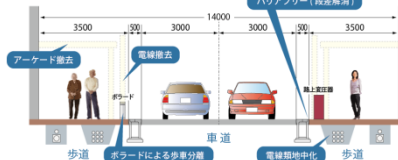
千代尼線の整備効果アピール資料

●快適な歩行空間の確保

【整備前】



【整備後】

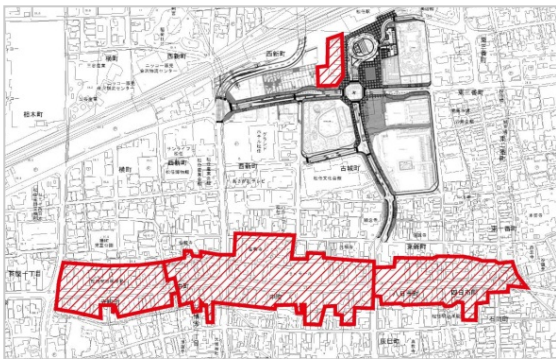


歩道部のイベント 活用



バリアフリー化による歩きやすい歩道

●街並み景観の保全と地域資源による魅力向上



まちづくり協定締結による景観保全
(店舗ファサード、色彩、屋外広告の規制誘導)



俳人「加賀の千代女」の句をモチーフとした施設



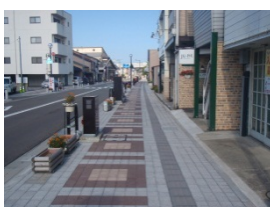
旧北国街道の歴史を伝える標柱

●住民による新たな活動

①沿道緑化の取り組み

■内容

沿道緑化を継続するため、県とアドプト協定を締結し、沿線商店街によりプランターの設置、維持管理を実施



②街路空間を活かしイベント

■内容

電柱・電線が無くなった街路空間をイベント会場として活用



おいでな祭り(8月)



獅子まつり(10月)

事業前写真

平成17年6月頃撮影



平成17年6月撮影



平成19年10月撮影



事業後写真

平成22年6月撮影



平成22年6月撮影



平成24年3月撮影



平成24年3月撮影



平成21年9月撮影



平成21年9月撮影

